



# 北条コミュニティ 地域づくり総務大臣表彰受賞!

コミュニティ会長 江尻 東磨

総務省では、「全国各地でそれぞれの地域をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰することにより、地域づくりへの情熱や想いを高め、豊かで活力有る地域社会の構築を図る」ために「地域づくり総務大臣表彰」を行っています。

このたび、当地区のコミュニティ活動が評価され、「平成十九年度地域づくり総務大臣表彰」をいただけることになりました。特に評価された点は、過疎と高齢化の中で、地域が地域を支え合う「人材バンク」と、商店がなくなり食料品の購入が困難になった住民のために、手づくりの総菜や野菜等を販売する店

「北条ふるさと市場・暖暖」開設などの事業に取り組んでいることです。

今年度は大賞が一団体、団体表彰が二十五団体、個人表彰が三人で、その中の団体表彰になります。

コミュニティ活動は地区民の活動です。地域ぐるみの協力なくしてこの名誉ある賞はいただくことができません。また、何のノウハウを持たない私どもに、ご指導、ご支援くださいました関係各位にも併せて感謝申し上げます。

表彰式は、三月十三日、東京・虎ノ門パストラルホテルで開催。地域の皆さまを代表していただいております。

北条地区  
コミュニティ  
振興協議会  
TEL25-3355

いからしめぐみ

## コミュニティ前に 避難道路完成

中越地震でコミセン前の道路が狭隘なため、大型車両や救急車両等の出入りが困難をきたし、避難道路の新設が急務とされました。

コミセンから市道柏崎二十二 九十二号線（通称・五月通り）へ通ずる直線道路の新設と、コミセン前道路の拡幅を市当局に要望、そして採択されました。

測量が開始されたのが平成十九年七月十三日、その三日後にまさかの中越地震を被災し、即工事は中止となりました。

中越沖地震は自衛隊の全面的な支援で大型車両の出入りは多く、コミセン入り口は前回以上に困難をきたしました。

二つの大きな地震を被災したことで、避難道路の新設は必須の課題となり、再



信越線側から見た避難道路

度、市当局に早期工事着工を要望いたしました。

その熱意が通じ、昨年十月中旬から工事が再開。拡幅工事は十二月で完了し、新設道路は二月二十八日から通行可能になりました。

一時停止の道路標示がされておりません。歩行者も車も交通安全には充分注意してご利用ください。

(事務局)

## 公共施設案内看板も設置

北条地区は二回の地震を被災した地域として、地震後はコミュニティセンターに県内外の視察者や報道関係者が大勢訪れています。しかし、一回で目的地に到着できる方は稀です。

縦貫道路から信越線ガードをくぐったところで、山間側も広田側も道路が分かれているので、迷ってしまうのです。災害時と同じことが多く発生しました。

(事務局)



## 「震災復興・スノーフェスタ」

### 地域の総合力で大成功!

二月十日のスノーフェスタは、天候に恵まれたこともあり、朝から大勢の観客で一杯になりました。また、ファイナールの復興祈願花火は、地域をあげてご協賛いただいたお陰で、素晴らしい花火大会となりました。心より感謝申し上げます。

(コミュニティ会長)